

○包括的意見

1 海外の各リーグと J リーグは、同じサッカーを行っているといっても、その自然環境やリーグとしてめざすことにしたものは完全一致ではない。四季があり、夏と冬の気候に大きな差があること、「地域密着」を掲げて自治体の支援を条件にリーグを構成してきたこと等を考えれば、シーズン移行により失うものも多いと思う。現行のシーズンカレンダーを軸にして、課題を解決することの方が全体最適なのではないか。それでもシーズン移行をする場合は、移行のメリットを語る前に、現行のシーズンカレンダーで絶対に無理だというものが何なのか、私たちが理解・納得できるように説明した上で検討を行っていただきたい。

⇒シーズン移行によって得られるメリットの説明は、リーグの資料をベースに意見交換会で説明した通りであります。

[231016 次の30年に向けて\(シーズン移行検討\)_簡易版.pdf | Powered by Box](#)

[【前編】シーズン移行議論とは？Jリーグがさらに成長するための最適なシーズンを考える。 - YouTube](#)

[【後編】シーズン移行議論とは？Jリーグがさらに成長するための最適なシーズンを考える。 - YouTube](#)

本説明にはまだ納得感が少ないという声もありました。納得感が上がる具体材料は、今後もリーグへ求めてまいります。

2 これまで実行委員会の場でどんな議論がなされ、各クラブからどんな意見や懸念事項が示されたのか、そして、リーグとしての解決案はどのようなものが提示されたのか説明していただきたい。

⇒先日の意見交換会でご説明しておりますので、議事録をご確認ください。

[10月28日\(土\) Jリーグ シーズン移行に関する意見交換会\(質疑応答\) 議事録 | ベガルタ仙台オフィシャルサイト \(vegalta.co.jp\)](#)

3 4つの分科会で、それぞれのカテゴリーに関する議論を深めたとのことだが、特にサポーターやボランティア、後援会に関係する事項としてはどんな意見や懸念事項が示されたのか、リーグとしての解決策はどのようなものが提示されたのか説明していただきたい。

⇒同上

4 Jリーグクラブ及びその関係者は、すべての人が日本代表の強化を主目的に活動している訳ではない。選手出身のチェアマンがアスリートファースト、日本代表ファーストな考えで、強引にシーズン移行をしようとしている姿勢に不安を覚える。

⇒同様の意見が、シーズン移行意見交換会でもでておりますので、リーグへ意見としてお伝えします。

5 シーズン移行は、全クラブに影響するものであるが、降雪地帯や北国のクラブにとっての負担が大きくなることは明白である。したがって、移行の決議方法については、理事会という限られた者での決議ではなく、実行委員会で決議をしていただきたい。なおかつ、多数決によらず、全会一致を原則として欲しい。

⇒Jリーグにおいて理事会にて多数決で決めるというガバナンス、制度設計なのでその点をご理解ください。その上で、実行委員会にて60クラブの賛否を聞いてほしいという声もあることは理解しており、各クラブの声がしっかりと届くプロセスをリーグにも求めていきたい。

6 10月28日、意見交換会の結果、どのような意見が出たのか、その結果、クラブとしてどのような内容を実行委員会で表明することにするのか、次回実行委員会開催前にクラブ公式HPで公開して欲しい。

⇒意見については、議事録をご確認ください。クラブの意思表示の方法や時期に関しては、今後調整してまいります。